

## 安全データシート

発行日 2025/09/09

## 1. 化学品及び会社情報

製品名	Methyl hydrazine-1-carbohydrazonothioate hydroiodide
製品コード(製造元)	OR24599
製品コード(販売元)	—
供給者	富士フィルム和光純薬株式会社 大阪市中央区道修町三丁目1番2号 電話:06-6203-3741 FAX番号:06-6203-2029
緊急連絡電話番号	試薬営業本部西日本営業部 06-6203-3741 試薬営業本部東日本営業部 03-3270-8571
推奨用途	試験研究用
使用上の制限	推奨用途以外で使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。

## 2~14章

製造元SDS(翻訳・次頁以降)による。

## 15. 適用法令

## 国内法規

毒物及び劇物取締法

—

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2)

労働安全衛生法 濃度基準値

物質名	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値
該当成分なし	—	—

化学物質排出把握管理促進法  
(PRTR法)

—

化学名	CASRN	含量	該当法令
ヒドラジン-1-カルボヒド ラゾノチオ酸メチルよう 化水素酸塩	37839-01-3	100%	安衛法 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2)

## 16. その他情報

## 引用文献および参照ホームページ等

供給者および日本法規(毒物及び劇物取締法、労働安全衛生法 法第 57 条の 2、化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)について本頁に記載します。

製品の詳細については次頁より製造元 SDS を翻訳したものを記載します。

## 免責事項

和文SDSは、製造元SDSを機械翻訳したものであり、不自然な表現が含まれることがあります。

より正確な情報に関しては製造元の原文SDSでご確認願います。

記載内容は通常の取扱を対象としたものであって他の物質と組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な取扱い等に関する 情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。

以上



## メチルヒドラジン-1-カルボヒドラゾノチオエートヨウ化水素酸塩

### アポロ・サイエンティ

品番: 0R24599

バージョン番号: 1.1

安全データシート (REACH (1907/2006) 付属書II - 規則2020/878に準拠)

ケムウォッチ危険警報コード: 2

発行日: 2023年5月22日

印刷日: 2023年7月31日

S.REACH.GBR.EN

### セクション1 単一物質/混合物および会社/事業体の識別

#### 1.1. 製品識別子

製品名	メチルヒドラジン-1-カルボヒドラゾノチオエートヨウ化水素酸塩
化学名	メチルヒドラジン-1-カルボヒドラゾノチオエートヨウ化水素酸塩
同義語	未提供
化学式	入手不可
その他の同定方法 識別	不明
CAS番号	37839-01-3*

#### 1.2. 単一物質または混合物の特定された関連使用および推奨されない使用

特定された関連使用	該当なし
推奨されない使用	特に推奨されない使用は特定されていない。

#### 1.3. 安全データシートの製造者または供給者の詳細

登録会社名	アポロ・サイエンティフィック	アポロ・サイエンティフィック株式会社
住所	ホワイトフィールド・ロード、ブレッドベリー SK62QR イギリス	ホワイトフィールド・ロード 不可用 SK6 2QR イギリス (NI)
電話番号	01614060505	+44(0) 161 406 0505
ファックス	0161 406 0506	利用不可
ウェブサイト	<a href="http://www.apolloscientific.co.uk/">http://www.apolloscientific.co.uk/</a>	<a href="http://www.apolloscientific.co.uk">apolloscientific.co.uk</a>
メール	<a href="mailto:sales@apolloscientific.co.uk">sales@apolloscientific.co.uk</a>	<a href="mailto:sales@apolloscientific.co.uk">sales@apolloscientific.co.uk</a>

#### 1.4. 緊急連絡先

協会/組織	利用不可
緊急連絡先 番号	利用不可
その他の緊急 電話番号	利用不可

### セクション2 危険有害性の要約

#### 2.1. 物質又は混合物の分類

以下の基準に基づく分類 規則 (EC) No 1272/2008 [CLP] および 改正 <sup>[1]</sup>	H312 - 急性毒性（経皮）区分4、H332 - 急性毒性（吸入）区分4、H335 - 特定標的臓器毒性 - 単回ばく露（気道刺激性）区分3、H302 - 急性毒性（経口）区分4、H315 - 皮膚腐食性/刺激性 区分2、H319 - 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2
凡例:	1. Chemwatchによる分類 2. 規則(EU)第1272/2008号 - 付属書VIに基づく分類

## 2.2. ラベル要素

危険表示	
注意喚起語	警告

## 危険性情報

H312	皮膚に接触すると有害。
H332	吸入すると有害。
H335	呼吸器への刺激のおそれ。
H302	飲み込むと有害。
H315	皮膚刺激。
H319	強い眼刺激。

## 補足情報

該当なし

## 予防措置

P271	屋外または換気のよい場所でのみ使用すること
P261	粉塵・煙を吸い込まないようすること。
P264	取扱い後は、身体の露出部分を十分に洗浄すること。
P270	この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと
P280	保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

## 予防措置 対応

P305+P351+P338	眼に入った場合: 数分間、水で注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337+P313	眼の刺激が続く場合: 医師の診察を受けること。
P301+P312	飲み込んだ場合: 気分が悪くなった場合は、毒物管理センターまたは医師に連絡すること。
P302+P352	皮膚に付着した場合: 多量の水で洗い流す。
P304+P340	吸入した場合: 新鮮な空気のある場所に移動させ、楽な姿勢で呼吸を楽にする。
P330	口をすすぐこと
P332+P313	皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察を受けること
P362+P364	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること

## 予防措置(保管)

P405	施錠して保管すること。
P403+P233	換気のよい場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

## 予防措置 廃棄

P501	内容物/容器は、地域の規制に従って、認可された有害廃棄物または特別廃棄物収集場所に廃棄してください。
------	--

## 2.3. その他の危険性

REACH - Art.57-59: 本混合物は、SDS 印刷日現在、高懸念单一物質 (SVHC) を含まない。

## セクション 3 組成及び成分情報

## 3.1. 単一物質

1.CAS番号 2.EC番号 3.インデックス番号 4.REACH番号	重量%	名称	分類基準 規制 (EC) No 1272/2008 [CLP] および改正	SCL / M係数	ナノフォーム粒子 特性

続く...

## メチルヒドラジン-1-カルボヒドラゾノチオエートヨウ化水素酸塩

1.CAS番号	2.EC番号	3.インデックス番号	4.REACH番号	重量%	名称	EC番号に基づく分類 規則 (EC) No 1272/2008 [CLP]及び改正	SCL / M係数	ナノフォーム粒子 特性
1. 提供不可 2. 提供不可 3. 提供不可 4. 提供不可		100			<u>メチルヒドラジン-1-カルボヒドラゾノチオエートヨウ化水素酸塩</u>	感作性 (皮膚) 区分1; H317 <sup>[1]</sup>	該当なし 利用可能	利用不可

**凡例:** 1. Chemwatchによる分類 2. 規則(EU)No 1272/2008 - 付属書VIに基づく分類 3. C&Lに基づく分類 \*EU/IOELVs

利用可能 : [e] 内分泌かく乱特性を持つと特定された単一物質

## 3.2.混合物

セクション3.1の「成分に関する情報」を参照

## セクション4 応急措置

## 4.1. 応急措置の説明

眼に入った場合	本品が目に入った場合: ▶ 直ちに新鮮な流水で洗い流してください。 ▶ まぶたを離した状態を保ち、時々上下のまぶたを持ち上げることでまぶたを動かし、目の完全な洗浄を確保してください。 ▶ 上まぶたと下まぶたを持ち上げることで、まぶたを動かしながら完全に洗浄してください。 ▶ 遅滞なく医師の診察を受けること。痛みが続く、または再発する場合は医師の診察を受けること。 ▶ 眼の負傷後のコンタクトレンズの除去は、熟練した担当者によってのみ行われるべきです。
皮膚に付着した場合	皮膚や毛髪に付着した場合: ▶ 流水で皮膚と髪を洗い流す（石鹼があれば使用すること）。 ▶ 刺激性がある場合は医師の診察を受けること。
吸入	▶ 煙、エアゾール、または燃焼生成物を吸入した場合は、汚染区域から退避させる。 ▶ その他の措置は通常不要です。
飲み込んだ場合	▶ 直ちにコップ一杯の水を飲ませてください。 ▶ 通常、応急処置は必要ありません。不明な場合は、毒物情報センターまたは医師に連絡してください。

## 4.2 急性および遅発性の最も重要な症状および影響

第11項を参照

## 4.3. 直ちに医療処置および特別な治療が必要な場合の指示

対症療法を行う。

## セクション5 消火活動

## 5.1. 消火剤

- ▶ 使用可能な消火器の種類に制限はない。
- ▶ 周囲の状況に適した消火剤を使用すること。

## 5.2. 基材または混合物に起因する特別な危険性

燃焼不適合性	特記すべきものはない
--------	------------

## 5.3. 消防隊への助言

消防	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 消防隊に警報を発し、危険物の位置と性質を伝える。</li> <li>▶ 火災時には呼吸用保護具と保護手袋を着用すること。</li> <li>▶ あらゆる手段を用いて、流出物が排水溝や水路に流入するのを防止すること。</li> <li>▶ 周囲の状況に適した消火手順を使用すること。</li> <li>▶ 高温が疑われる容器には絶対に近づかないでください。</li> <li>▶ 安全な場所から容器に水噴霧を行い、火災に晒された容器を冷却する。</li> <li>▶ 安全が確認された場合、容器を火災の進行経路から移動させる。</li> <li>▶ 機器は使用後は完全に除染すること。</li> </ul>
火災・爆発の危険性	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 不燃性物質。</li> <li>▶ 重大な火災リスクとはみなされないが、容器は燃焼する可能性がある。</li> <li>▶ 腐食性ガスを発生する可能性がある。</li> </ul>

## 第6節 漏出時の措置

## 6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

第8項を参照

## 6.2. 環境に対する注意事項

セクション12を参照

## 6.3. 封じ込め及び浄化の方法と材料

少量の漏出物	<ul style="list-style-type: none"><li>漏出物は直ちに拭き取ってください。</li><li>粉塵の吸入、皮膚や目への接触を避けてください。</li><li>保護服、手袋、安全眼鏡、防塵マスクを着用してください。</li><li>乾式清掃手順を使用し、粉塵の発生を避けてください。</li><li>掃き集め、シャベルで集めるか、または</li><li>吸引（保管時および使用時に接地設計の防爆型機械の使用を検討）。</li><li>こぼれた物質を清潔で乾燥した密閉可能なラベル付き容器に入れる。</li></ul>
大量漏出物時	<p>中程度の危険性。</p> <ul style="list-style-type: none"><li><b>注意</b>：周辺作業員に通知すること。</li><li>緊急サービスに通報し、危険の場所と性質を伝える。</li><li>保護服を着用し、身体接触を制限する。</li><li>あらゆる手段を用いて、流出物が排水溝や水路に流入するのを防止すること。</li><li>可能な限り製品を回収すること。</li><li><b>乾燥状態</b>の場合：粉塵の発生を避け、乾燥した清掃手順を使用して処理する。残留物を回収し、密閉可能なポリ袋またはその他の容器に入れて廃棄する。<b>湿润の場合</b>：吸引／シャベルで回収し、表示付き容器に入れて廃棄する。</li><li><b>常に</b>：汚染箇所を大量の水で洗い流し、排水口への流出を防止してください。</li><li>排水路や水路が汚染された場合は、緊急サービスに通報してください。</li></ul>

## 6.4. 他の項目の参照

保護具に関する助言は、SDSの第8項に含みます。

## セクション7 取扱い及び保管上の注意

### 7.1. 安全な取扱いに関する注意事項

安全な取扱い	<ul style="list-style-type: none"><li>吸入を含む、あらゆる身体への接触を避けてください。</li><li>暴露の危険がある場合は保護服を着用すること。</li><li>換気の良い場所で使用してください。</li><li>窓みや排水溝での濃縮を防止すること。</li><li>大気状態を確認するまで、閉鎖空間に入らないでください。</li><li>材料が人体、露出している食品、または調理器具に接触しないようにしてください。</li><li>互換性のない物質との接触を避けてください。</li><li><b>取扱い中は飲食・喫煙を厳禁。</b></li><li>使用していないときは容器を確実に密閉してください。</li><li>容器の物理的損傷を避けてください。</li><li>取扱後は必ず石鹼と水で手を洗うこと。</li><li>作業服は他の衣類とは別に洗濯してください。汚染された衣類は再使用前に洗濯してください。</li><li>適切な作業慣行を使用してください。</li><li>本SDSに含む製造者の保管及び取扱いに関する推奨事項を遵守してください。</li><li>安全な作業環境を維持するため、大気は確立された暴露基準に対して定期的に確認すべきである。</li><li>維持されることを保証するため、確立された暴露基準に対して定期的に大気を確認すること</li></ul>
火災及び爆発対策	第5項を参照
その他の情報	<ul style="list-style-type: none"><li>元の容器に保管すること。</li><li>容器は確実に密閉すること。</li><li>極端な環境から保護された、涼しく乾燥した場所に保管すること。</li><li>互換性のない物質や食品容器から離して保管してください。</li><li>容器を物理的損傷から保護し、定期的に漏れがないか点検すること。</li><li>本SDSに含む製造者の保管及び取扱いに関する推奨事項を遵守してください。</li></ul> <p>大量の場合：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>保管区域の囲い込みを検討すること - 保管区域が地域の水源（雨水、地下水、湖、河川を含む）から隔離されていることを確認すること 雨水、地下水、湖沼、河川を含む）。</li><li>大気または水域への偶発的放出については、災害管理計画の対象とする。この計画には、 地方自治体との協議が必要となる場合があります。</li></ul>

### 7.2. 安全な保管条件（不適合物質を含む）

適切な容器	<ul style="list-style-type: none"><li>内張り金属缶、内張り金属バケツ／缶。</li></ul>
-------	--

## ヨウ化水素酸メチルヒドラジン-1-カルボヒドラゾノチオエート

	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラスチック製ペー</li> <li>ル等ライナードラム。</li> <li>製造者の推奨する包装。</li> <li>すべての容器に明確なラベルが貼られており、漏れがないことを確認してください。</li> </ul>
保管上の不適合	<ul style="list-style-type: none"> <li>光に敏感</li> <li>2~8°Cで保管</li> </ul>
危険物分類 に準拠 規則 (EC) No 1272/2008	該当なし
危険物の適格数量 (トン) の危険 物質の 第3条(10)における 適用	利用不可

## 7.3. 特定の最終使用

セクション1.2を参照

## セクション8 ばく露防止及び保護措置

## 8.1. 制御パラメータ

成分	DNEL 曝露パターン労働者	PNECs コンパートメント
利用不可	利用不可	利用不可

\* 一般集団の値

## 職業ばく露限界値 (OEL)

## 成分データ

出典	成分	材料名	TWA	STEL	ピーク	備考
利用不可						

該当なし

## 緊急時制限

成分	TEEL-1	TEEL-2	TEEL-3
メチルヒドラジン- 1-カルボヒドラゾノチオエート ヨウ化水素酸	入手不可	入手不可	利用不可

成分	元の IDLH	改訂 IDLH
メチルヒドラジン- 1-カルボヒドラゾノチオエート ヨウ化水素酸	データなし	データなし

## 8.2. 暴露管理

8.2.1. 適切な 設備対策	<p>設備対策は、危険を除去するか、作業者と危険の間に障壁を設けるために使用される。適切に設計された設備対策は、作業者を保護する上で非常に効果的であり、通常、作業者の操作に依存せずに高いレベルの保護を提供する。</p> <p>設備対策の塩基性の種類は以下の通りである：</p> <p>作業活動やプロセスの実施方法を変更してリスクを低減するプロセス管理。</p> <p>排出源の問い合わせおよび/または隔離により、選定された危険を労働者から「物理的に」遠ざけ、換気により作業環境において戦略的に空気を「供給」および「除去」する換気。換気は空気汚染物質を除去または希釈できる場合がある。</p> <p>適切に設計されていること。換気システムの設計は、使用される特定のプロセスおよび化学物質または汚染物質に適合していかなければならない。</p> <p>雇用主は、従業員の過剰暴露を防ぐために複数の管理手法を併用する必要があり、その使用は避けられない場合がある。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>固体物質を粉末や結晶として取扱う場所では、局所排気装置が必要です。粒子状物質が比較的大きい場合でも、相互摩擦によって一定割合が粉塵化します。大きな粒子であっても、相互摩擦によって一定割合が粉塵化する。</li> <li>局所排気装置を設置しているにもかかわらず、空気中の当該单一物質の有害な濃度が発生する可能性がある場合には、呼吸用保護具の使用を検討すべきである。</li> </ul> <p>そのような保護具としては以下が挙げられる：</p> <p>(a): 必要に応じて吸収カートリッジを併用した粒子状物質用呼吸用保護具；</p>

## メチルヒドラジン-1-カルボヒドラゾノチオエートヨウ化水素酸塩

(b): 適切なタイプの吸収カートリッジまたはキャニスターを備えたフィルター式呼吸用保護具;  
(c): フレッシュエアードまたはマスク。  
作業場で発生する空気汚染物質は様々な「逃逸速度」を持ち、これが汚染物質を効果的に除去するために必要な新鮮な循環空気の「捕捉速度」を決定する。  
速度」を決定する。

## 汚染物質の種類:

直接噴射、浅型ブース内のスプレー塗装、ドラム充填、コンペア積載、粉砕機粉塵、ガス排出（高速気流領域への能動的発生）

## 空気速度:

1-2.5 m/s (200-500 f/min.)

研削、研磨ブラスト、タンブリング、高速ホイール発生粉塵（初期速度が非常に高い状態で放出され、速度で高速気流領域に放出される）

2.5-10 m/s (500-2000 f/min.)

各範囲内における適切な値は以下に依存する：

範囲の下限	範囲の上限
1: 室内の気流が最小限、または捕獲に有利	1: 室内の気流が乱れる
2: 低毒性または迷惑程度の汚染物質のみ。	2: 高毒性汚染物質
3: 断続的、低生産量。	3: 高生産量、多使用
4: 大型フードまたは大気流の移動	4: 小型フードによる局所制御のみ

単純な理論によれば、単純な排気パイプの開口部から離れるにつれて気流速度は急速に低下する。速度は一般的に排気点からの距離の二乗に反比例して減少する（単純な場合）。したがって、空気速度は

排気ポイントは、汚染源からの距離を参照した上で、それに応じて調整すべきである。例えば、排気ファンにおける空気速度は、2メートルで発生する粉砕粉塵の排気には、最低4~10m/s (800~20

例えば、吸引ファンにおける空気速度は、吸引ポイントから2メートル離れた位置で発生する粉砕粉塵を吸引する場合、最低4-10 m/s (800-2000 f/min) であるべきである。  
その他の機械的要因により吸引性能が低下する場合がある。

装置においては、排気システムを設置または使用する際に、理論上の空気速度に10倍以上の係数を乗じることを必須とする。

設置または使用する際には、理論上の空気流速に10倍以上の係数を乗じる



## 8.2.2. 個人防護

（例：

個人用保護具

個人用保護具

## 眼と顔の保護具

- サイドシールド付き安全メガネ。
- 化学防護ゴーグル [AS/NZS 1337.1, EN166 または各国相当規格]
- コンタクトレンズは特に危険を伴う可能性がある。ソフトコンタクトレンズは刺激性を吸収・濃縮する恐れがある。書面による方針各職場または作業ごとに、レンズの着用方法または使用上の制限を記載した文書を作成すべきである。これには使用化学物質の分類に応じたレンズの吸収・吸着に関する検討と、負傷事例の記録を含めること。  
医療および応急手当担当者はレンズの取り外し方法を訓練され、適切な器具が容易に入手可能であるべきである。  
化学物質に曝露した場合、直ちに眼の洗浄を開始し、可能な限り速やかにコンタクトレンズを外すこと。レンズは目の充血や刺激の初期症状が現れた時点で外すこと。レンズは清潔な環境下で、作業者が手を十分に洗浄した後にのみ、清潔な環境でレンズを外すこと。[CDC NIOSH Current Intelligence Bulletin 59]

## 皮膚保護

下記の手の保護具を参照

適切な手袋の選択は、素材だけでなく、製造元ごとに異なるその他の品質基準にも依存する。

製造者から製造者へ。化学物質が複数の单一物質からなる調剤である場合、手袋素材の耐性は事前に計算することはできず、したがって使用前に確認する必要があります。

単一物質の正確な透過時間は、防護手袋の製造者から入手し、最終選択時にはこれを遵守すること。

効果的な手ケアにおいて、個人衛生は重要な要素です。手袋は清潔な手でのみ着用してください。手袋使用後は、手を十分に洗い、乾かしてください。無香料の保湿剤の使用が推奨されます。

手袋の適性と耐久性は使用状況に依存します。手袋選定における重要な要素は以下の通りです：

- ・接触頻度と持続時間、
- ・手袋素材の耐薬品性、
- ・手袋の厚さと
- ・操作性

関連規格（例：欧州EN 374、米国F739、AS/NZS 2161.1または国内相当規格）に基づき試験済みの手袋を選択すること。

・長時間の接触や頻繁な反復接触が想定される場合、保護クラス5以上（浸透時間

EN 374、AS/NZS 2161.10.1 または各國相当規格に基づき、240分を超える保護性能を有する手袋の使用が推奨されます。

・短時間の接触のみが予想される場合、保護クラス3以上（EN 374、AS/NZS 2161.10.1 または同等の国内規格に基づく浸透時間が60分を超える）の手袋の使用が推奨される。

EN 374、AS/NZS 2161.10.1 または国内相当規格に基づく）が推奨される。

・一部のグローブ用ボリマーは動きの影響を受けにくいため、

長期使用

・汚染された手袋は交換すべきである。

ASTM F-739-96で定義される通り、あらゆる用途において手袋は以下のように評価される：

・突破時の最適時間 > 480分

・>突破時間がxml-pH-0000@deepl.internal20分の場合は良好

・<突破時間がxml-pH-0000@deepl.internal20分の場合は可

・劣悪：手袋素材が劣化する場合

一般的な用途では、通常0.35mm以上の厚手グローブの使用が推奨されます。

強調すべきは、手袋の厚さが必ずしも特定の化学物質に対する手袋の耐性を予測する良い指標ではないという点である。なぜなら、

手袋の浸透効率は手袋素材の正確な組成に依存するためである。したがって、手袋の選定は

は作業要件の検討と浸透時間の知識に基づいて行うべきである。

手袋の厚みは、手袋製造者、手袋の種類、手袋のモデルによっても異なる場合があります。したがって、

## メチルヒドラジン-1-カルボヒドラゾノチオエートヨウ化水素酸塩

<p>作業に最適な手袋を選択するためには、常に製造者の技術データを考慮に入れる必要があります。</p> <p>注: 実施する作業内容に応じて、特定の作業には異なる厚さの手袋が必要となる場合があります。例:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高い手先の器用さが求められる作業では、より薄い手袋 (0.1mm以下) が必要となる場合があります。ただし、これらの手袋は手袋は短時間の保護しか期待できず、通常は単回使用後に廃棄されます。</li> <li>機械的 (および化学的) リスクがある場所、すなわち機械的損傷の危険がある場所では、より厚い手袋 (最大3mm以上) が必要となる場合があります。</li> <li>擦過傷や穿刺の危険性がある場合</li> </ul> <p>手袋は清潔な手でのみ着用すること。使用後は手を十分に洗浄・乾燥させること。</p> <p>無香料の保湿剤の使用が推奨されます。</p> <p>経験上、以下のポリマーは未溶解の乾燥固体に対する防護用手袋材料として適している:</p> <p>研磨粒子が存在しない場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ポリクロロブレン。</li> <li>ニトリルゴム。</li> <li>ブチルゴム。</li> <li>フッ素ゴム。</li> <li>ポリ塩化ビニル。</li> </ul> <p>手袋は、摩耗や劣化がないか常に点検してください。</p>	
身体の保護	以下のその他の保護具を参照
その他の保護具	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーバーオール</li> <li>ポリ塩化ビニル製エプロン</li> <li>只手アクリーム。</li> <li>皮膚洗浄クリーム。</li> <li>洗眼器。</li> </ul>

## 推奨される材料

## 手袋選定指標

手袋の選定は、以下の改訂版に基づく:

## 「フルスパーク衣類性能指標」

以下の単一物質の影響は、

コンピューター生成の選択において考慮されています:

ヨウ化メチルヒドラジン-1-カルボヒドラゾノチオエート

材質	CPI
PE/評価/PE	A

\* CPI - ケムウォッズ性能指数

A: 最適選択

B: 満足できる: 4時間以上の連続浸漬後は劣化の可能性あり

C: 不良~危険: 短時間の浸漬以外には不適切な選択

注記: 手袋の実際の性能には一連の要因が影響するため、

最終的な選定は詳細な観察に基づく必要がある。 -

\* 手袋の使用が短期的、偶発的、または不定期な場合、

「感触」や利便性 (例: 使い捨て性) などの要素が選択を左右する場合がある

長期間または頻繁に使用した結果、本来は不適切な可能性のある手袋

使用後に不適となる可能性のある手袋のサイズを特定する。資格を有する専門家に相談すべきである。

## 呼吸用保護具

タイプ -P 十分な容量のフィルター。 (AS/NZS 1716 および 1715、EN 143:2000 および 149:2001、ANSI Z88 または各国相当規格)

必要最小限 保護係数	ハーフフェイス 呼吸用保護具	フルフェイス 呼吸器	電動式 呼吸用保護具
最大10 x ES	P1 エアライン*	-	PAPR-P1 -
最大50 x ES	エアライン**	P2	PAPR-P2
最大100 x ES	-	P3	-
100+ x ES	-	エアライン*	-
	-	エアライン**	PAPR-P3

\* - 負圧要求 \*\* - 連続流

A(全クラス)=有機蒸気、B AUS または B1= 酸性ガス、B2= 酸性ガス

またはシアノ化物(HCN)、B3= 酸性ガスまたはシアノ化物(HCN)、E =

二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)、G= 農薬、K= アンモニア(NH<sub>3</sub>)、Hg =

水銀、NO= 硝素酸化物、MB= 呉化メチル、AX= 低沸点

有機化合物(65°C以下)

.. 技術的・管理的対策では曝露を十分に防止できない場合、呼吸用保護具が必要となることがあります。

曝露を十分に防止できない場合。

・呼吸器保護具の使用判断は、専門的な

判断に基づき、毒性情報、曝露測定データ、および作業者の曝露頻度と可能性を考慮すべきである。

データ、および作業員の曝露頻度と可能性を考慮した専門的判断に基づくべきである。

高熱負荷の影響を受けず、熱ストレスや熱疲労を引き起こす可能性がない

(電動式、正圧式、フルフェイスの保護具

装置が選択肢となり得る)。

・公表されている職業ばく露限界 (存在する場合) は、

選定された呼吸用保護具の適切性を判断するのに役立つ。これらは

政府が義務付ける場合もあれば、ベンダーが推奨する場合もある。

・認定された呼吸用保護具は、作業者が吸入する有害物質から保護するのに使用できる。

微粒子を適切に選択し、完全な呼吸用保護プログラムの一環としてフィットテストを実施した場合

呼吸保護プログラムの一環として適切に選択され、フィットテストが実施された場合、

・微細粉塵の低濃度レベルからの保護が必要な場合、N95型 (使用)

(米国) またはタイプP1 (EN143) 防塵マスクを使用してください。呼吸用保護具および部品は、NIOSH (米国) などの適切な政府基準に基づき試験され承認されたものを使用してください。

NIOSH (米国)

またはCEN (EU) などの適切な政府基準に基づき試験・承認された呼吸用保護具および部品を使用

粉塵が大量に空気中に浮遊する場合、承認済み正圧式マスクを使用すること

空気中に浮遊する場合。

・粉塵が発生する状況を避けるよう努める。

## 8.2.3. 環境曝露管理

続く...

第12項参照

## セクション 9 物理的及び化学的性質

## 9.1. 塩基性の物理的及び化学的性質に関する情報

性状	該当なし		
物理状態	固体	相対密度 (水 = 1)	不明
臭い	利用不可	分配係数 n-オクタノール / 水	不明
臭い閾値	不明	自己着火温度 (°C)	不明
pH (供給時)	不明	分解 温度 (°C)	利用不可
融点/凝固点 点 (°C)	不明	粘度 (cSt)	利用不可
初沸点および 沸騰範囲 (°C)	不明	分子量 (g/mol)	利用不可
引火点 (°C)	データなし	味	利用不可
蒸発速度	不明	火薬・爆薬性	利用不可
可燃性	不明	酸化性	不明
上限火薬・爆薬限界 (%)	不明	表面張力 (dyn/cm または mN/m)	該当なし
下爆発下限 (%)	入手不可	揮発性成分 (体積%)	利用不可
蒸気圧 (kPa)	不明	ガスグループ	利用不可
水への溶解度	不明	溶液としてのpH (1%)	利用不可
蒸気密度 (空気 = 1)	不明	揮発性有機化合物 ナノフォーム粒子 特性	利用不可
ナノフォームの溶解度	データなし	ナノフォーム粒子 特性	不明
粒子サイズ	不明		

## 9.2. その他の情報

入手不可

## セクション 10 安定性及び反応性

10.1. 反応性	セクション7.2を参照
10.2. 化学的安定性	製品は安定であり、危険な重合は発生しないと考えられる。
10.3. 危険反応の可能性 危険反応の可能性	セクション7.2を参照
10.4. 回避すべき条件	セクション7.2を参照
10.5. 非互換 材料	セクション7.2を参照
10.6. 危険 分解生成物	5.3項参照

## セクション 11 有害性情報

## 11.1. 規則 (EC) No 1272/2008 で定義される危険有害性クラスに関する情報 毒性作用に関する情報

吸入	本物質は、EC指令（動物モデルによる分類）で分類されているように、健康への悪影響や気道の刺激を引き起こすとは考えられていません。しかししながら、良好な衛生慣行として、曝露を最小限に抑え、適切な管理措置を講じる必要がある職業環境で使用される措置。
飲み込んだ場合	本物質は、EC指令その他の分類体系において「飲み込んだ場合による有害性」を有すると分類されていません。これは裏付けとなる動物またはヒトの証拠が不足しているためです。
皮膚に付着した場合	本物質は、接触後の健康被害や皮膚刺激を引き起こすとは考えられていません（EC指令による分類に基づく）。動物モデルを使用した）。しかしながら、適切な衛生管理においては、曝露を最小限に抑え、適切な手袋を

## メチルヒドラジン-1-カルボヒドラゾノチオエートヨウ化水素酸塩

	職業環境で使用される。
眼	この物質は、一部の人々に眼刺激や損傷を引き起こす可能性があります。
慢性	本製品への長期暴露は、健康に有害な慢性影響を引き起こすとは考えられていない（EC指令による分類）；しかしながら、あらゆる経路による曝露は当然のこととして最小限に抑えるべきである。

メチルヒドラジン-1-カルボヒドラゾノチオエートヨウ化水素酸塩	毒性	刺激性
	データなし	不明
凡例:	1. 欧州ECHA登録单一物質 - 急性毒性から得られた値 2. 製造者SDSから得られた値。 特に断りがない限り、RTECS（化学单一物質の毒性効果登録簿）から抽出されたデータ	

急性毒性	✓	発がん性	✗
皮膚刺激性／腐食性	✓	生殖毒性	✗
重篤な眼 損傷・刺激	✓	特定標的臓器毒性 - 単回ばく露による	✓
呼吸器または皮膚 感作性	✗	特定標的臓器毒性 - 反復ばく露	✗
変異原性	✗	誤えん有害性	✗

凡例: ✗ - データが入手不可能、または分類基準を満たさない

✓ - 分類に必要なデータが利用可能

## 11.2 その他の危険性に関する情報

## 11.2.1. 内分泌かく乱特性

現在の文献において、内分泌かく乱作用の証拠は認められなかった。

## 11.2.2. その他の情報

セクション11.1を参照

## セクション 12 環境影響情報

## 12.1. 毒性

メチルヒドラジン-1-カルボヒドラゾノチオエートヨウ化水素酸	エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	なし 入手可能	利用不可	利用不可	Not 入手可能	なし 入手可能
凡例:	出典: 1. IUCLID 毒性データ 2. 欧州ECHA登録单一物質 - 生態毒性情報 - 水生毒性 4. 米国環境保護庁 (US EPA) 、生態毒性データベース - 水生毒性データ5. ECETOC 水生有害性評価データ6. 独立行政法人 製品環境技術評価機構 (NITE) (日本) - 生物濃縮データ7. 経済産業省 (METI) (日本) - 生物濃縮データ8. 生物濃縮データ7. 経済産業省 (日本) - 生物濃縮データ8. ベンダーデータ				

## 12.2. 持続性と分解性

成分	生物蓄積	残留性: 空気
	全成分についてデータなし	全成分についてデータなし

## 12.3. 生物蓄積性

成分	生物蓄積
	全成分についてデータなし

## 12.4. 土壌中の移動性

成分	移動性
	全成分についてデータなし

## 12.5. PBTおよびvPvB評価の結果

	P	B	T
利用可能な関連データ	利用不可	利用不可	利用不可
PBT	✗	✗	✗

## ヨウ化水素酸メチルヒドラジン-1-カルボヒドラゾノチオエート

	P	B	T
VPvB	✗	✗	✗
PBT基準を満たすか?	いいえ		
VPvB	いいえ		

## 12.6. 内分泌かく乱特性

現在の文献において内分泌かく乱特性の証拠は認められなかった。

## 12.7. その他の有害作用

現在の文献において、オゾン層破壊特性に関する証拠は確認されなかった。

## セクション13 廃棄上の注意

## 13.1. 廃棄処理方法

製品／梱包の 廃棄	<ul style="list-style-type: none"> <li>可能な限りリサイクルするか、リサイクル方法については製造者にお問い合わせください。</li> <li>廃棄については、州の土地廃棄物管理局に相談してください。</li> <li>残留物は認可された埋立地に埋める。</li> <li>容器は可能な限りリサイクルするか、認可された埋立処分場で処分してください。</li> </ul>
廃棄物処理オプション	利用不可
汚水処理方法	利用不可

## セクション14 輸送上の注意

## ラベルの必要性

海洋汚染物質	NO
HAZCHEM	該当なし

## 陸上輸送 (ADR) : 危険物の輸送は規制対象外

14.1. 国連番号または識別番号 番号	該当なし													
14.2. UN 正式輸送名 名称	該当なし													
14.3. 輸送上の危険 クラス	クラス	該当なし												
	補助危険	該当なし												
14.4. 容器等級	該当なし													
14.5. 環境 危険	該当なし													
14.6. 特別な注意事項 ユーザー向け	<table border="1"> <tr> <td>危険有害性の要約 (ケムラー)</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td>分類コード</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td>危険表示</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td>特別規定</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td>数量制限</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td>トンネル規制コード</td> <td>該当なし</td> </tr> </table>		危険有害性の要約 (ケムラー)	該当なし	分類コード	該当なし	危険表示	該当なし	特別規定	該当なし	数量制限	該当なし	トンネル規制コード	該当なし
危険有害性の要約 (ケムラー)	該当なし													
分類コード	該当なし													
危険表示	該当なし													
特別規定	該当なし													
数量制限	該当なし													
トンネル規制コード	該当なし													

## 航空輸送 (ICAO-IATA(航空) / DGR) : 危険物の輸送を規制する対象外

14.1. 国連番号	該当なし	
14.2. UN 正式輸送名 名称	該当なし	
14.3. 輸送上の危険 クラス	ICAO/IATA(航空) クラス	該当なし
	ICAO / IATA サブリスク	該当なし
	ERG コード	該当なし

## メチルヒドラジン-1-カルボヒドラゾノチオエートヨウ化水素酸塩

14.4. 容器等級	該当なし	
14.5. 環境 危険	該当なし	
	特別規定	該当なし
	貨物のみ梱包指示	該当なし
	貨物のみ 最大数量/梱包	該当なし
14.6. 特別な注意事項 ユーザー向け	旅客および貨物用梱包指示	該当なし
	旅客・貨物用 最大数量／包装	該当なし
	旅客・貨物用数量制限梱包指示	該当なし
	旅客・貨物用制限最大数量／包装	該当なし

## 海上輸送 (IMDG(海上)/GGVSee) : 危険物の輸送を規制する対象外

14.1. 国連番号	該当なし	
14.2. UN 正式輸送品目 名称	該当なし	
14.3. 輸送上の危険 クラス	IMDG(海上)クラス	該当なし
	IMDG(海上) サブリスト	該当なし
14.4. 容器等級	該当なし	
14.5. 環境 危険	該当なし	
14.6. 特別な注意事項 ユーザー向け	EMS番号	該当なし
	特別規定	該当なし
	限定数量	該当なし

## 内陸水路輸送 (ADN(国際航空運送協会)) : 危険物の輸送については規制対象外

14.1. 国連番号	該当なし	
14.2. UN 正式輸送名 名称	該当なし	
14.3. 輸送上の危険性 クラス	該当なし	該当なし
14.4. 容器等級	該当なし	
14.5. 環境 危険性	該当なし	
14.6. 特別な注意事項 ユーザー向け	分類コード	該当なし
	特別規定	該当なし
	数量制限	該当なし
	必要な機器	該当なし
	防火コーン数	該当なし

## 14.7. IMO文書に基づく海上輸送 (バルク輸送)

## 14.7.1. MARPOL附属書II及びIBCコードに基づくバルク輸送

該当なし

## 14.7.2. MARPOL附属書V及びIMSBCコードに基づくバルク輸送

製品名	グループ
メチルヒドラジン-1-カルボヒドラゾノチオエートヨウ化水素酸塩	該当なし

## 14.7.3. IGCコードに基づくバルク輸送

製品名	船舶の種類

続く...

## メチルヒドラジン-1-カルボヒドラゾノチオエートヨウ化水素酸塩

製品名	船積
メチルヒドラジン-1-カルボヒドラゾノチオエートヨウ化水素酸塩	未提供

## セクション 15 適用法令

## 15.1. 本単一物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規制/法令

この安全データシートは、以下のEU法令およびその改正（該当する範囲において）に準拠しています：指令98/24/EC、- 92/85/EEC、- 94/33/EC  
- 2008/98/EC、- 2010/75/EU、欧州委員会規則 (EU) 2020/878、改正を通じて更新された規則 (EC) No 1272/2008。

## 2012/18/EU（セヴェーゾIII）に基づく情報：

セペンソ分類	該当なし
--------	------

## 15.2. 化学物質安全性評価

詳細については、入手可能な場合、サプライチェーンが作成した化学物質安全性評価および暴露シナリオを参照してください。

## ECHAサマリー

該当なし

## 国内インベントリ状況

国内インベントリ	ステータス
オーストラリア - AIIC / オーストラリア 非工業使用	はい
カナダ - DSL	はい
カナダ - NDSL	はい
中国 - IECSC	はい
ヨーロッパ - EINEC / ELINCS / NLP	はい
日本 - 化審法官報公示番 号	はい
韓国 - KECI ニュージーランド - NZIoC	はい
フィリピン - PICCS	はい
アメリカ - TSCA	はい
台湾 - TCSI	はい
メキシコ - INSQ	はい
ベトナム - NCI	はい
ロシア - FBEPH	はい
<b>凡例:</b>	はい= CAS登録済みの全成分がインベントリに記載されています いいえ= 記載されたCAS番号の成分のうち、1つ以上が在庫リストに存在しません。これらの成分は免除対象であるか、登録が必要となります 登録が必要となる可能性があります。

## セクション16 その他の情報

改訂日	2023年5月22日
初回日付	2023年5月23日

## 全文リスク及びハザードコード

## その他の情報

本製剤及びその個々の成分の分類は、公的かつ権威ある情報源に加え、Chemwatch分類委員会による独立した審査（利用可能な文献参照を用いた）に基づいて行われた。  
分類委員会による利用可能な文献参照を使用した独立したレビューに基づいています。

SDSは危険有害性情報伝達ツールであり、リスク評価を支援するために使用すべきです。報告された危険有害性がリスクとなるか否かは多くの要因によって決定されます  
職場やその他の環境において。リスクは曝露シナリオを参照して決定される場合がある。使用規模、使用頻度、および現行または利用可能な  
設備対策の現状または利用可能性を考慮する必要がある。

保護具に関する詳細な助言については、以下のEU CEN規格を参照のこと：

EN 166 眼の保護具

続く...

## ヨウ化水素酸メチルヒドラジン-1-カルボヒドラゾノチオエート

EN 340 防護服

EN 374 化学物質及び微生物に対する防護手袋

EN 13832 化学物質から保護する履物

EN 133 呼吸用保護具

## 定義と略語

PC-TWA: 許容濃度-時間加重平均

PC-STEL: 許容濃度-短時間ばく露限界

IARC: International Agency for Research on Cancer

ACGIH: 米国産業衛生専門家会議

STEL: 短時間ばく露限界

TEEL: 一時的緊急ばく露限界

IDLH: 生命または健康に直ちに危険な濃度

ES: 暴露基準

OSF: 吊い安全係数

NOAEL: 無有害影響量

LOAEL: 最低有害影響量

TLV: 許容濃度

LOD: 検出限界

OTV: 吊い閾値

BCF: 生物濃縮係数

BEI: 生物学的曝露指數

AIIC: オーストラリア工業化学物質インベントリ

DSL: 国内単一物質リスト

NDSL: 非国内単一物質リスト

IECSC: 中国化学物質現存単一物質目録

EINECS: 欧州既存商業化学単一物質目録

ELINCS: 欧州届出化学物質リスト

NLP: 非重合体

化審法官報公示番号: 既存化学物質及び新規化学物質インベントリ

KECI: 韓国既存化学物質インベントリ

NZIoC: ニュージーランド化学物質インベントリ

PICCS: フィリピン化学物質インベントリ

TSCA: 有害物質規制法

TCSI: 台湾化学物質インベントリ

INSQ: Inventario Nacional de Sustancias Químicas

NCI: National Chemical Inventory

FBEPH: ロシア潜在危険化学物質・生物物質登録簿

## 混合物の分類を導出するために使用される分類及び手順（欧州連合規則（EC）1272/2008 [CLP] に基づく）

以下の規則に基づく分類 規則 (EC) 第 1272/2008 [CLP] および 改正	分類手順
急性毒性（経皮） 区分4、H312	専門家の判断
急性毒性（吸入） 区分4、H332	専門家の判断
特定標的臓器毒性 毒性 - 単回ばく露 (呼吸器刺激性) 区分3、H335	専門家の判断
急性毒性（経口） 区分4、H302	専門家の判断
皮膚腐食性／刺激性 区分2、H315	専門家の判断
眼の損傷・眼の炎症 刺激 区分2、H319	専門家の判断

Chemwatch社のAuthoriTeによる提供。



## Methyl hydrazine-1-carbohydrazonothioate hydroiodide

### Apollo Scientific

Part Number: OR24599

Version No: 1.1

Safety Data Sheet (Conforms to Annex II of REACH (1907/2006) - Regulation 2020/878)

Chemwatch Hazard Alert Code: 2

Issue Date: 22/05/2023

Print Date: 31/07/2023

S.REACH.GBR.EN

### SECTION 1 Identification of the substance / mixture and of the company / undertaking

#### 1.1. Product Identifier

Product name	Methyl hydrazine-1-carbohydrazonothioate hydroiodide
Chemical Name	Methyl hydrazine-1-carbohydrazonothioate hydroiodide
Synonyms	Not Available
Chemical formula	Not Available
Other means of identification	Not Available
CAS number	37839-01-3*

#### 1.2. Relevant identified uses of the substance or mixture and uses advised against

Relevant identified uses	Not Available
Uses advised against	No specific uses advised against are identified.

#### 1.3. Details of the manufacturer or supplier of the safety data sheet

Registered company name	Apollo Scientific	Apollo Scientific Ltd
Address	Whitefield Road, Bredbury SK62QR United Kingdom	Whitefield Road Not Available SK6 2QR United Kingdom (NI)
Telephone	01614060505	+44(0) 161 406 0505
Fax	0161 406 0506	Not Available
Website	<a href="http://www.apolloscientific.co.uk/">http://www.apolloscientific.co.uk/</a>	<a href="http://www.apolloscientific.co.uk/">apolloscientific.co.uk</a>
Email	sales@apolloscientific.co.uk	sales@apolloscientific.co.uk

#### 1.4. Emergency telephone number

Association / Organisation	Not Available
Emergency telephone numbers	Not Available
Other emergency telephone numbers	Not Available

### SECTION 2 Hazards identification

#### 2.1. Classification of the substance or mixture

Classification according to regulation (EC) No 1272/2008 [CLP] and amendments [1]	H312 - Acute Toxicity (Dermal) Category 4, H332 - Acute Toxicity (Inhalation) Category 4, H335 - Specific Target Organ Toxicity - Single Exposure (Respiratory Tract Irritation) Category 3, H302 - Acute Toxicity (Oral) Category 4, H315 - Skin Corrosion/Irritation Category 2, H319 - Serious Eye Damage/Eye Irritation Category 2
Legend:	1. Classified by Chemwatch; 2. Classification drawn from Regulation (EU) No 1272/2008 - Annex VI

## Methyl hydrazine-1-carbohydrazonothioate hydroiodide

## 2.2. Label elements

Hazard pictogram(s)	
Signal word	Warning

## Hazard statement(s)

H312	Harmful in contact with skin.
H332	Harmful if inhaled.
H335	May cause respiratory irritation.
H302	Harmful if swallowed.
H315	Causes skin irritation.
H319	Causes serious eye irritation.

## Supplementary statement(s)

Not Applicable

## Precautionary statement(s) Prevention

P271	Use only outdoors or in a well-ventilated area.
P261	Avoid breathing dust/fumes.
P264	Wash all exposed external body areas thoroughly after handling.
P270	Do not eat, drink or smoke when using this product.
P280	Wear protective gloves, protective clothing, eye protection and face protection.

## Precautionary statement(s) Response

P305+P311+P338	IF IN EYES: Rinse cautiously with water for several minutes. Remove contact lenses, if present and easy to do. Continue rinsing.
P337+P313	If eye irritation persists: Get medical advice/attention.
P301+P312	IF SWALLOWED: Call a POISON CENTER/doctor/physician/first aider if you feel unwell.
P302+P352	IF ON SKIN: Wash with plenty of water.
P304+P340	IF INHALED: Remove person to fresh air and keep comfortable for breathing.
P330	Rinse mouth.
P332+P313	If skin irritation occurs: Get medical advice/attention.
P362+P364	Take off contaminated clothing and wash it before reuse.

## Precautionary statement(s) Storage

P405	Store locked up.
P403+P233	Store in a well-ventilated place. Keep container tightly closed.

## Precautionary statement(s) Disposal

P501	Dispose of contents/container to authorised hazardous or special waste collection point in accordance with any local regulation.
------	--

## 2.3. Other hazards

REACH - Art.57-59: The mixture does not contain Substances of Very High Concern (SVHC) at the SDS print date.

## SECTION 3 Composition / information on ingredients

## 3.1. Substances

1. CAS No 2. EC No 3. Index No 4. REACH No	%[weight]	Name	Classification according to regulation (EC) No 1272/2008 [CLP] and amendments	SCL / M-Factor	Nanoform Particle Characteristics

Continued...

## Methyl hydrazine-1-carbohydrazonothioate hydroiodide

1. CAS No 2. EC No 3. Index No 4. REACH No	%[weight]	Name	Classification according to regulation (EC) No 1272/2008 [CLP] and amendments	SCL / M-Factor	Nanoform Particle Characteristics
1. Not Available 2. Not Available 3. Not Available 4. Not Available	100	<u>Methyl hydrazine-1-carbohydrazonothioate hydroiodide</u>	Sensitisation (Skin) Category 1; H317 <sup>[1]</sup>	Not Available	Not Available

**Legend:** 1. Classified by Chemwatch; 2. Classification drawn from Regulation (EU) No 1272/2008 - Annex VI; 3. Classification drawn from C&L; \* EU IOELVs available; [e] Substance identified as having endocrine disrupting properties

### 3.2. Mixtures

See 'Information on ingredients' in section 3.1

## SECTION 4 First aid measures

### 4.1. Description of first aid measures

<b>Eye Contact</b>	If this product comes in contact with the eyes: <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Wash out immediately with fresh running water.</li> <li>▶ Ensure complete irrigation of the eye by keeping eyelids apart and away from eye and moving the eyelids by occasionally lifting the upper and lower lids.</li> <li>▶ Seek medical attention without delay; if pain persists or recurs seek medical attention.</li> <li>▶ Removal of contact lenses after an eye injury should only be undertaken by skilled personnel.</li> </ul>
<b>Skin Contact</b>	If skin or hair contact occurs: <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Flush skin and hair with running water (and soap if available).</li> <li>▶ Seek medical attention in event of irritation.</li> </ul>
<b>Inhalation</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ If fumes, aerosols or combustion products are inhaled remove from contaminated area.</li> <li>▶ Other measures are usually unnecessary.</li> </ul>
<b>Ingestion</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Immediately give a glass of water.</li> <li>▶ First aid is not generally required. If in doubt, contact a Poisons Information Centre or a doctor.</li> </ul>

### 4.2 Most important symptoms and effects, both acute and delayed

See Section 11

### 4.3. Indication of any immediate medical attention and special treatment needed

Treat symptomatically.

## SECTION 5 Firefighting measures

### 5.1. Extinguishing media

- ▶ There is no restriction on the type of extinguisher which may be used.
- ▶ Use extinguishing media suitable for surrounding area.

### 5.2. Special hazards arising from the substrate or mixture

<b>Fire Incompatibility</b>	None known.
-----------------------------	-------------

### 5.3. Advice for firefighters

<b>Fire Fighting</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Alert Fire Brigade and tell them location and nature of hazard.</li> <li>▶ Wear breathing apparatus plus protective gloves in the event of a fire.</li> <li>▶ Prevent, by any means available, spillage from entering drains or water courses.</li> <li>▶ Use fire fighting procedures suitable for surrounding area.</li> <li>▶ <b>DO NOT</b> approach containers suspected to be hot.</li> <li>▶ Cool fire exposed containers with water spray from a protected location.</li> <li>▶ If safe to do so, remove containers from path of fire.</li> <li>▶ Equipment should be thoroughly decontaminated after use.</li> </ul>
<b>Fire/Explosion Hazard</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Non combustible.</li> <li>▶ Not considered a significant fire risk, however containers may burn.</li> </ul> <p>May emit corrosive fumes.</p>

## SECTION 6 Accidental release measures

Continued...

## Methyl hydrazine-1-carbohydrazonothioate hydroiodide

**6.1. Personal precautions, protective equipment and emergency procedures**

See section 8

**6.2. Environmental precautions**

See section 12

**6.3. Methods and material for containment and cleaning up**

<b>Minor Spills</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Clean up all spills immediately.</li> <li>▶ Avoid breathing dust and contact with skin and eyes.</li> <li>▶ Wear protective clothing, gloves, safety glasses and dust respirator.</li> <li>▶ Use dry clean up procedures and avoid generating dust.</li> <li>▶ Sweep up, shovel up or</li> <li>▶ Vacuum up (consider explosion-proof machines designed to be grounded during storage and use).</li> <li>▶ Place spilled material in clean, dry, sealable, labelled container.</li> </ul>
<b>Major Spills</b>	<p>Moderate hazard.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ <b>CAUTION:</b> Advise personnel in area.</li> <li>▶ Alert Emergency Services and tell them location and nature of hazard.</li> <li>▶ Control personal contact by wearing protective clothing.</li> <li>▶ Prevent, by any means available, spillage from entering drains or water courses.</li> <li>▶ Recover product wherever possible.</li> <li>▶ <b>IF DRY:</b> Use dry clean up procedures and avoid generating dust. Collect residues and place in sealed plastic bags or other containers for disposal. <b>IF WET:</b> Vacuum/shovel up and place in labelled containers for disposal.</li> <li>▶ <b>ALWAYS:</b> Wash area down with large amounts of water and prevent runoff into drains.</li> <li>▶ If contamination of drains or waterways occurs, advise Emergency Services.</li> </ul>

**6.4. Reference to other sections**

Personal Protective Equipment advice is contained in Section 8 of the SDS.

**SECTION 7 Handling and storage****7.1. Precautions for safe handling**

<b>Safe handling</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Avoid all personal contact, including inhalation.</li> <li>▶ Wear protective clothing when risk of exposure occurs.</li> <li>▶ Use in a well-ventilated area.</li> <li>▶ Prevent concentration in hollows and sumps.</li> <li>▶ <b>DO NOT</b> enter confined spaces until atmosphere has been checked.</li> <li>▶ <b>DO NOT</b> allow material to contact humans, exposed food or food utensils.</li> <li>▶ Avoid contact with incompatible materials.</li> <li>▶ <b>When handling, DO NOT eat, drink or smoke.</b></li> <li>▶ Keep containers securely sealed when not in use.</li> <li>▶ Avoid physical damage to containers.</li> <li>▶ Always wash hands with soap and water after handling.</li> <li>▶ Work clothes should be laundered separately. Launder contaminated clothing before re-use.</li> <li>▶ Use good occupational work practice.</li> <li>▶ Observe manufacturer's storage and handling recommendations contained within this SDS.</li> <li>▶ Atmosphere should be regularly checked against established exposure standards to ensure safe working conditions are maintained.</li> </ul>
<b>Fire and explosion protection</b>	See section 5
<b>Other information</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Store in original containers.</li> <li>▶ Keep containers securely sealed.</li> <li>▶ Store in a cool, dry area protected from environmental extremes.</li> <li>▶ Store away from incompatible materials and foodstuff containers.</li> <li>▶ Protect containers against physical damage and check regularly for leaks.</li> <li>▶ Observe manufacturer's storage and handling recommendations contained within this SDS.</li> </ul> <p>For major quantities:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Consider storage in bunded areas - ensure storage areas are isolated from sources of community water (including stormwater, ground water, lakes and streams).</li> <li>▶ Ensure that accidental discharge to air or water is the subject of a contingency disaster management plan; this may require consultation with local authorities.</li> </ul>

**7.2. Conditions for safe storage, including any incompatibilities**

<b>Suitable container</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Lined metal can, lined metal pail/ can.</li> </ul>
---------------------------	---

Continued...

## Methyl hydrazine-1-carbohydrazonothioate hydroiodide

	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Plastic pail.</li> <li>▶ Polyliner drum.</li> <li>▶ Packing as recommended by manufacturer.</li> <li>▶ Check all containers are clearly labelled and free from leaks.</li> </ul>
<b>Storage incompatibility</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Light Sensitive</li> <li>▶ Store at 2-8°C</li> </ul>
<b>Hazard categories in accordance with Regulation (EC) No 1272/2008</b>	Not Available
<b>Qualifying quantity (tonnes) of dangerous substances as referred to in Article 3(10) for the application of</b>	Not Available

**7.3. Specific end use(s)**

See section 1.2

**SECTION 8 Exposure controls / personal protection****8.1. Control parameters**

Ingredient	DNELs Exposure Pattern Worker	PNECs Compartment
Not Available	Not Available	Not Available

\* Values for General Population

**Occupational Exposure Limits (OEL)****INGREDIENT DATA**

Source	Ingredient	Material name	TWA	STEL	Peak	Notes
Not Available						

Not Applicable

**Emergency Limits**

Ingredient	TEEL-1	TEEL-2	TEEL-3
Methyl hydrazine-1-carbohydrazonothioate hydroiodide	Not Available	Not Available	Not Available

Ingredient	Original IDLH	Revised IDLH
Methyl hydrazine-1-carbohydrazonothioate hydroiodide	Not Available	Not Available

**8.2. Exposure controls**

<b>8.2.1. Appropriate engineering controls</b>	<p>Engineering controls are used to remove a hazard or place a barrier between the worker and the hazard. Well-designed engineering controls can be highly effective in protecting workers and will typically be independent of worker interactions to provide this high level of protection.</p> <p>The basic types of engineering controls are:</p> <p>Process controls which involve changing the way a job activity or process is done to reduce the risk.</p> <p>Enclosure and/or isolation of emission source which keeps a selected hazard "physically" away from the worker and ventilation that strategically "adds" and "removes" air in the work environment. Ventilation can remove or dilute an air contaminant if designed properly. The design of a ventilation system must match the particular process and chemical or contaminant in use. Employers may need to use multiple types of controls to prevent employee overexposure.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Local exhaust ventilation is required where solids are handled as powders or crystals; even when particulates are relatively large, a certain proportion will be powdered by mutual friction.</li> <li>▶ If in spite of local exhaust an adverse concentration of the substance in air could occur, respiratory protection should be considered.</li> </ul> <p>Such protection might consist of:</p> <p>(a): particle dust respirators, if necessary, combined with an absorption cartridge;</p>
	<p style="text-align: right;"><b>Continued...</b></p>

## Methyl hydrazine-1-carbohydrazonothioate hydroiodide

- (b): filter respirators with absorption cartridge or canister of the right type;  
 (c): fresh-air hoods or masks.

Air contaminants generated in the workplace possess varying "escape" velocities which, in turn, determine the "capture velocities" of fresh circulating air required to effectively remove the contaminant.

## Type of Contaminant:

direct spray, spray painting in shallow booths, drum filling, conveyer loading, crusher dusts, gas discharge (active generation into zone of rapid air motion)

grinding, abrasive blasting, tumbling, high speed wheel generated dusts (released at high initial velocity into zone of very high rapid air motion).

## Air Speed:

1-2.5 m/s (200-500 f/min.)

2.5-10 m/s (500-2000 f/min.)

Within each range the appropriate value depends on:

Lower end of the range	Upper end of the range
1: Room air currents minimal or favourable to capture	1: Disturbing room air currents
2: Contaminants of low toxicity or of nuisance value only.	2: Contaminants of high toxicity
3: Intermittent, low production.	3: High production, heavy use
4: Large hood or large air mass in motion	4: Small hood-local control only

Simple theory shows that air velocity falls rapidly with distance away from the opening of a simple extraction pipe. Velocity generally decreases with the square of distance from the extraction point (in simple cases). Therefore the air speed at the extraction point should be adjusted, accordingly, after reference to distance from the contaminating source. The air velocity at the extraction fan, for example, should be a minimum of 4-10 m/s (800-2000 f/min) for extraction of crusher dusts generated 2 metres distant from the extraction point. Other mechanical considerations, producing performance deficits within the extraction apparatus, make it essential that theoretical air velocities are multiplied by factors of 10 or more when extraction systems are installed or used.

### 8.2.2. Individual protection measures, such as personal protective equipment



#### Eye and face protection

- Safety glasses with side shields.
- Chemical goggles. [AS/NZS 1337.1, EN166 or national equivalent]
- Contact lenses may pose a special hazard: soft contact lenses may absorb and concentrate irritants. A written policy document, describing the wearing of lenses or restrictions on use, should be created for each workplace or task. This should include a review of lens absorption and adsorption for the class of chemicals in use and an account of injury experience. Medical and first-aid personnel should be trained in their removal and suitable equipment should be readily available. In the event of chemical exposure, begin eye irrigation immediately and remove contact lens as soon as practicable. Lens should be removed at the first signs of eye redness or irritation - lens should be removed in a clean environment only after workers have washed hands thoroughly. [CDC NIOSH Current Intelligence Bulletin 59].

#### Skin protection

See Hand protection below

The selection of suitable gloves does not only depend on the material, but also on further marks of quality which vary from manufacturer to manufacturer. Where the chemical is a preparation of several substances, the resistance of the glove material can not be calculated in advance and has therefore to be checked prior to the application.

The exact break through time for substances has to be obtained from the manufacturer of the protective gloves and has to be observed when making a final choice.

Personal hygiene is a key element of effective hand care. Gloves must only be worn on clean hands. After using gloves, hands should be washed and dried thoroughly. Application of a non-perfumed moisturiser is recommended.

Suitability and durability of glove type is dependent on usage. Important factors in the selection of gloves include:

- frequency and duration of contact,
- chemical resistance of glove material,
- glove thickness and
- dexterity

Select gloves tested to a relevant standard (e.g. Europe EN 374, US F739, AS/NZS 2161.1 or national equivalent).

- When prolonged or frequently repeated contact may occur, a glove with a protection class of 5 or higher (breakthrough time greater than 240 minutes according to EN 374, AS/NZS 2161.10.1 or national equivalent) is recommended.
- When only brief contact is expected, a glove with a protection class of 3 or higher (breakthrough time greater than 60 minutes according to EN 374, AS/NZS 2161.10.1 or national equivalent) is recommended.
- Some glove polymer types are less affected by movement and this should be taken into account when considering gloves for long-term use.
- Contaminated gloves should be replaced.

As defined in ASTM F-739-96 in any application, gloves are rated as:

- Excellent when breakthrough time > 480 min
- Good when breakthrough time > 20 min
- Fair when breakthrough time < 20 min
- Poor when glove material degrades

For general applications, gloves with a thickness typically greater than 0.35 mm, are recommended.

It should be emphasised that glove thickness is not necessarily a good predictor of glove resistance to a specific chemical, as the permeation efficiency of the glove will be dependent on the exact composition of the glove material. Therefore, glove selection should also be based on consideration of the task requirements and knowledge of breakthrough times.

Glove thickness may also vary depending on the glove manufacturer, the glove type and the glove model. Therefore, the

Continued...

## Methyl hydrazine-1-carbohydrazonothioate hydroiodide

	<p>manufacturers technical data should always be taken into account to ensure selection of the most appropriate glove for the task.</p> <p>Note: Depending on the activity being conducted, gloves of varying thickness may be required for specific tasks. For example:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Thinner gloves (down to 0.1 mm or less) may be required where a high degree of manual dexterity is needed. However, these gloves are only likely to give short duration protection and would normally be just for single use applications, then disposed of.</li> <li>• Thicker gloves (up to 3 mm or more) may be required where there is a mechanical (as well as a chemical) risk i.e. where there is abrasion or puncture potential</li> </ul> <p>Gloves must only be worn on clean hands. After using gloves, hands should be washed and dried thoroughly. Application of a non-perfumed moisturiser is recommended.</p> <p>Experience indicates that the following polymers are suitable as glove materials for protection against undissolved, dry solids, where abrasive particles are not present.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▸ polychloroprene.</li> <li>▸ nitrile rubber.</li> <li>▸ butyl rubber.</li> <li>▸ fluorocaoutchouc.</li> <li>▸ polyvinyl chloride.</li> </ul> <p>Gloves should be examined for wear and/ or degradation constantly.</p>
<b>Body protection</b>	See Other protection below
<b>Other protection</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▸ Overalls.</li> <li>▸ P.V.C apron.</li> <li>▸ Barrier cream.</li> <li>▸ Skin cleansing cream.</li> <li>▸ Eye wash unit.</li> </ul>

**Recommended material(s)****GLOVE SELECTION INDEX**

Glove selection is based on a modified presentation of the:

**"Forsberg Clothing Performance Index".**

The effect(s) of the following substance(s) are taken into account in the **computer-generated** selection:

Methyl hydrazine-1-carbohydrazonothioate hydroiodide

Material	CPI
PE/EVAL/PE	A

\* CPI - Chemwatch Performance Index

A: Best Selection

B: Satisfactory; may degrade after 4 hours continuous immersion

C: Poor to Dangerous Choice for other than short term immersion

**NOTE:** As a series of factors will influence the actual performance of the glove, a final selection must be based on detailed observation. -

\* Where the glove is to be used on a short term, casual or infrequent basis, factors such as "feel" or convenience (e.g. disposability), may dictate a choice of gloves which might otherwise be unsuitable following long-term or frequent use. A qualified practitioner should be consulted.

**Respiratory protection**

Type -P Filter of sufficient capacity. (AS/NZS 1716 & 1715, EN 143:2000 & 149:2001, ANSI Z88 or national equivalent)

Required Minimum Protection Factor	Half-Face Respirator	Full-Face Respirator	Powered Air Respirator
up to 10 x ES	P1 Air-line*	- -	PAPR-P1 -
up to 50 x ES	Air-line**	P2	PAPR-P2
up to 100 x ES	-	P3	-
		Air-line*	-
100+ x ES	-	Air-line**	PAPR-P3

\* - Negative pressure demand \*\* - Continuous flow

A(All classes) = Organic vapours, B AUS or B1 = Acid gasses, B2 = Acid gas or hydrogen cyanide(HCN), B3 = Acid gas or hydrogen cyanide(HCN), E = Sulfur dioxide(SO<sub>2</sub>), G = Agricultural chemicals, K = Ammonia(NH<sub>3</sub>), Hg = Mercury, NO = Oxides of nitrogen, MB = Methyl bromide, AX = Low boiling point organic compounds(below 65 degC)

- Respirators may be necessary when engineering and administrative controls do not adequately prevent exposures.
- The decision to use respiratory protection should be based on professional judgment that takes into account toxicity information, exposure measurement data, and frequency and likelihood of the worker's exposure - ensure users are not subject to high thermal loads which may result in heat stress or distress due to personal protective equipment (powered, positive flow, full face apparatus may be an option).
- Published occupational exposure limits, where they exist, will assist in determining the adequacy of the selected respiratory protection. These may be government mandated or vendor recommended.
- Certified respirators will be useful for protecting workers from inhalation of particulates when properly selected and fit tested as part of a complete respiratory protection program.
- Where protection from nuisance levels of dusts are desired, use type N95 (US) or type P1 (EN143) dust masks. Use respirators and components tested and approved under appropriate government standards such as NIOSH (US) or CEN (EU)
- Use approved positive flow mask if significant quantities of dust becomes airborne.
- Try to avoid creating dust conditions.

**8.2.3. Environmental exposure controls**

Continued...

## Methyl hydrazine-1-carbohydrazonothioate hydroiodide

See section 12

**SECTION 9 Physical and chemical properties****9.1. Information on basic physical and chemical properties**

<b>Appearance</b>	Not Available		
<b>Physical state</b>	Solid	<b>Relative density (Water = 1)</b>	Not Available
<b>Odour</b>	Not Available	<b>Partition coefficient n-octanol / water</b>	Not Available
<b>Odour threshold</b>	Not Available	<b>Auto-ignition temperature (°C)</b>	Not Available
<b>pH (as supplied)</b>	Not Available	<b>Decomposition temperature (°C)</b>	Not Available
<b>Melting point / freezing point (°C)</b>	Not Available	<b>Viscosity (cSt)</b>	Not Available
<b>Initial boiling point and boiling range (°C)</b>	Not Available	<b>Molecular weight (g/mol)</b>	Not Available
<b>Flash point (°C)</b>	Not Available	<b>Taste</b>	Not Available
<b>Evaporation rate</b>	Not Available	<b>Explosive properties</b>	Not Available
<b>Flammability</b>	Not Available	<b>Oxidising properties</b>	Not Available
<b>Upper Explosive Limit (%)</b>	Not Available	<b>Surface Tension (dyn/cm or mN/m)</b>	Not Applicable
<b>Lower Explosive Limit (%)</b>	Not Available	<b>Volatile Component (%vol)</b>	Not Available
<b>Vapour pressure (kPa)</b>	Not Available	<b>Gas group</b>	Not Available
<b>Solubility in water</b>	Not Available	<b>pH as a solution (1%)</b>	Not Available
<b>Vapour density (Air = 1)</b>	Not Available	<b>VOC g/L</b>	Not Available
<b>Nanoform Solubility</b>	Not Available	<b>Nanoform Particle Characteristics</b>	Not Available
<b>Particle Size</b>	Not Available		

**9.2. Other information**

Not Available

**SECTION 10 Stability and reactivity**

<b>10.1. Reactivity</b>	See section 7.2
<b>10.2. Chemical stability</b>	Product is considered stable and hazardous polymerisation will not occur.
<b>10.3. Possibility of hazardous reactions</b>	See section 7.2
<b>10.4. Conditions to avoid</b>	See section 7.2
<b>10.5. Incompatible materials</b>	See section 7.2
<b>10.6. Hazardous decomposition products</b>	See section 5.3

**SECTION 11 Toxicological information****11.1. Information on hazard classes as defined in Regulation (EC) No 1272/2008 Information on toxicological effects**

<b>Inhaled</b>	The material is not thought to produce adverse health effects or irritation of the respiratory tract (as classified by EC Directives using animal models). Nevertheless, good hygiene practice requires that exposure be kept to a minimum and that suitable control measures be used in an occupational setting.
<b>Ingestion</b>	The material has <b>NOT</b> been classified by EC Directives or other classification systems as "harmful by ingestion". This is because of the lack of corroborating animal or human evidence.
<b>Skin Contact</b>	The material is not thought to produce adverse health effects or skin irritation following contact (as classified by EC Directives using animal models). Nevertheless, good hygiene practice requires that exposure be kept to a minimum and that suitable gloves

Continued...

## Methyl hydrazine-1-carbohydrazonothioate hydroiodide

	be used in an occupational setting.
<b>Eye</b>	This material can cause eye irritation and damage in some persons.
<b>Chronic</b>	Long-term exposure to the product is not thought to produce chronic effects adverse to the health (as classified by EC Directives using animal models); nevertheless exposure by all routes should be minimised as a matter of course.

Methyl hydrazine-1-carbohydrazonothioate hydroiodide	TOXICITY	IRRITATION
	Not Available	Not Available

<b>Legend:</b>	1. Value obtained from Europe ECHA Registered Substances - Acute toxicity 2. Value obtained from manufacturer's SDS. Unless otherwise specified data extracted from RTECS - Register of Toxic Effect of chemical Substances
----------------	---

Acute Toxicity	✓	Carcinogenicity	✗
Skin Irritation/Corrosion	✓	Reproductivity	✗
Serious Eye Damage/Irritation	✓	STOT - Single Exposure	✓
Respiratory or Skin sensitisation	✗	STOT - Repeated Exposure	✗
Mutagenicity	✗	Aspiration Hazard	✗

**Legend:** ✗ – Data either not available or does not fill the criteria for classification  
✓ – Data available to make classification

## 11.2 Information on other hazards

### 11.2.1. Endocrine disrupting properties

No evidence of endocrine disrupting properties were found in the current literature.

### 11.2.2. Other information

See Section 11.1

## SECTION 12 Ecological information

### 12.1. Toxicity

Methyl hydrazine-1-carbohydrazonothioate hydroiodide	Endpoint	Test Duration (hr)	Species	Value	Source
	Not Available	Not Available	Not Available	Not Available	Not Available

**Legend:** Extracted from 1. IUCLID Toxicity Data 2. Europe ECHA Registered Substances - Ecotoxicological Information - Aquatic Toxicity 4. US EPA, Ecotox database - Aquatic Toxicity Data 5. ECETOC Aquatic Hazard Assessment Data 6. NITE (Japan) - Bioconcentration Data 7. METI (Japan) - Bioconcentration Data 8. Vendor Data

### 12.2. Persistence and degradability

Ingredient	Persistence: Water/Soil	Persistence: Air
	No Data available for all ingredients	No Data available for all ingredients

### 12.3. Bioaccumulative potential

Ingredient	Bioaccumulation
	No Data available for all ingredients

### 12.4. Mobility in soil

Ingredient	Mobility
	No Data available for all ingredients

### 12.5. Results of PBT and vPvB assessment

	P	B	T
Relevant available data	Not Available	Not Available	Not Available
PBT	✗	✗	✗

Continued...

## Methyl hydrazine-1-carbohydrazonothioate hydroiodide

	P	B	T
vPvB	✗	✗	✗
PBT Criteria fulfilled?			No
vPvB			No

**12.6. Endocrine disrupting properties**

No evidence of endocrine disrupting properties were found in the current literature.

**12.7. Other adverse effects**

No evidence of ozone depleting properties were found in the current literature.

**SECTION 13 Disposal considerations****13.1. Waste treatment methods**

Product / Packaging disposal	<ul style="list-style-type: none"> <li>▸ Recycle wherever possible or consult manufacturer for recycling options.</li> <li>▸ Consult State Land Waste Management Authority for disposal.</li> <li>▸ Bury residue in an authorised landfill.</li> <li>▸ Recycle containers if possible, or dispose of in an authorised landfill.</li> </ul>
Waste treatment options	Not Available
Sewage disposal options	Not Available

**SECTION 14 Transport information****Labels Required**

Marine Pollutant	NO
HAZCHEM	Not Applicable

**Land transport (ADR): NOT REGULATED FOR TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS**

14.1. UN number or ID number	Not Applicable	
14.2. UN proper shipping name	Not Applicable	
14.3. Transport hazard class(es)	Class	Not Applicable
	Subsidiary risk	Not Applicable
14.4. Packing group	Not Applicable	
14.5. Environmental hazard	Not Applicable	
14.6. Special precautions for user	Hazard identification (Kemler)	Not Applicable
	Classification code	Not Applicable
	Hazard Label	Not Applicable
	Special provisions	Not Applicable
	Limited quantity	Not Applicable
	Tunnel Restriction Code	Not Applicable

**Air transport (ICAO-IATA / DGR): NOT REGULATED FOR TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS**

14.1. UN number	Not Applicable	
14.2. UN proper shipping name	Not Applicable	
14.3. Transport hazard class(es)	ICAO/IATA Class	Not Applicable
	ICAO / IATA Subrisk	Not Applicable
	ERG Code	Not Applicable

## Methyl hydrazine-1-carbohydrazonothioate hydroiodide

14.4. <b>Packing group</b>	Not Applicable	
14.5. <b>Environmental hazard</b>	Not Applicable	
14.6. <b>Special precautions for user</b>	Special provisions	Not Applicable
	Cargo Only Packing Instructions	Not Applicable
	Cargo Only Maximum Qty / Pack	Not Applicable
	Passenger and Cargo Packing Instructions	Not Applicable
	Passenger and Cargo Maximum Qty / Pack	Not Applicable
	Passenger and Cargo Limited Quantity Packing Instructions	Not Applicable
	Passenger and Cargo Limited Maximum Qty / Pack	Not Applicable

**Sea transport (IMDG-Code / GGVSee): NOT REGULATED FOR TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS**

14.1. <b>UN number</b>	Not Applicable	
14.2. <b>UN proper shipping name</b>	Not Applicable	
14.3. <b>Transport hazard class(es)</b>	IMDG Class	Not Applicable
	IMDG Subrisk	Not Applicable
14.4. <b>Packing group</b>	Not Applicable	
14.5. <b>Environmental hazard</b>	Not Applicable	
14.6. <b>Special precautions for user</b>	EMS Number	Not Applicable
	Special provisions	Not Applicable
	Limited Quantities	Not Applicable

**Inland waterways transport (ADN): NOT REGULATED FOR TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS**

14.1. <b>UN number</b>	Not Applicable	
14.2. <b>UN proper shipping name</b>	Not Applicable	
14.3. <b>Transport hazard class(es)</b>	Not Applicable	Not Applicable
14.4. <b>Packing group</b>	Not Applicable	
14.5. <b>Environmental hazard</b>	Not Applicable	
14.6. <b>Special precautions for user</b>	Classification code	Not Applicable
	Special provisions	Not Applicable
	Limited quantity	Not Applicable
	Equipment required	Not Applicable
	Fire cones number	Not Applicable

**14.7. Maritime transport in bulk according to IMO instruments****14.7.1. Transport in bulk according to Annex II of MARPOL and the IBC code**

Not Applicable

**14.7.2. Transport in bulk in accordance with MARPOL Annex V and the IMSBC Code**

Product name	Group
Methyl hydrazine-1-carbohydrazonothioate hydroiodide	Not Available

**14.7.3. Transport in bulk in accordance with the IGC Code**

Product name	Ship Type
--------------	-----------

Continued...

## Methyl hydrazine-1-carbohydrazonothioate hydroiodide

Product name	Ship Type
Methyl hydrazine-1-carbohydrazonothioate hydroiodide	Not Available

**SECTION 15 Regulatory information****15.1. Safety, health and environmental regulations / legislation specific for the substance or mixture**

This safety data sheet is in compliance with the following EU legislation and its adaptations - as far as applicable - : Directives 98/24/EC, - 92/85/EEC, - 94/33/EC, - 2008/98/EC, - 2010/75/EU; Commission Regulation (EU) 2020/878; Regulation (EC) No 1272/2008 as updated through ATPs.

**Information according to 2012/18/EU (Seveso III):**

Seveso Category	Not Available
-----------------	---------------

**15.2. Chemical safety assessment**

For further information please look at the Chemical Safety Assessment and Exposure Scenarios prepared by your Supply Chain if available.

**ECHA SUMMARY**

Not Applicable

**National Inventory Status**

National Inventory	Status
Australia - AIIC / Australia Non-Industrial Use	Yes
Canada - DSL	Yes
Canada - NDSL	Yes
China - IECSC	Yes
Europe - EINEC / ELINCS / NLP	Yes
Japan - ENCS	Yes
Korea - KECI	Yes
New Zealand - NZIoC	Yes
Philippines - PICCS	Yes
USA - TSCA	Yes
Taiwan - TCSI	Yes
Mexico - INSQ	Yes
Vietnam - NCI	Yes
Russia - FBEPH	Yes
<b>Legend:</b>	<i>Yes = All CAS declared ingredients are on the inventory</i> <i>No = One or more of the CAS listed ingredients are not on the inventory. These ingredients may be exempt or will require registration.</i>

**SECTION 16 Other information**

Revision Date	22/05/2023
Initial Date	23/05/2023

**Full text Risk and Hazard codes****Other information**

Classification of the preparation and its individual components has drawn on official and authoritative sources as well as independent review by the Chemwatch Classification committee using available literature references.

The SDS is a Hazard Communication tool and should be used to assist in the Risk Assessment. Many factors determine whether the reported Hazards are Risks in the workplace or other settings. Risks may be determined by reference to Exposures Scenarios. Scale of use, frequency of use and current or available engineering controls must be considered.

For detailed advice on Personal Protective Equipment, refer to the following EU CEN Standards:  
EN 166 Personal eye-protection

Continued...

**Methyl hydrazine-1-carbohydrazonothioate hydroiodide**

EN 340 Protective clothing

EN 374 Protective gloves against chemicals and micro-organisms

EN 13832 Footwear protecting against chemicals

EN 133 Respiratory protective devices

**Definitions and abbreviations**

PC - TWA: Permissible Concentration-Time Weighted Average

PC - STEL: Permissible Concentration-Short Term Exposure Limit

IARC: International Agency for Research on Cancer

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

STEL: Short Term Exposure Limit

TEEL: Temporary Emergency Exposure Limit,

IDLH: Immediately Dangerous to Life or Health Concentrations

ES: Exposure Standard

OSF: Odour Safety Factor

NOAEL :No Observed Adverse Effect Level

LOAEL: Lowest Observed Adverse Effect Level

TLV: Threshold Limit Value

LOD: Limit Of Detection

OTV: Odour Threshold Value

BCF: BioConcentration Factors

BEI: Biological Exposure Index

AIIC: Australian Inventory of Industrial Chemicals

DSL: Domestic Substances List

NDSL: Non-Domestic Substances List

IECSC: Inventory of Existing Chemical Substance in China

EINECS: European INventory of Existing Commercial chemical Substances

ELINCS: European List of Notified Chemical Substances

NLP: No-Longer Polymers

ENCS: Existing and New Chemical Substances Inventory

KECI: Korea Existing Chemicals Inventory

NZIoC: New Zealand Inventory of Chemicals

PICCS: Philippine Inventory of Chemicals and Chemical Substances

TSCA: Toxic Substances Control Act

TCSI: Taiwan Chemical Substance Inventory

INSQ: Inventario Nacional de Sustancias Químicas

NCI: National Chemical Inventory

FBEPH: Russian Register of Potentially Hazardous Chemical and Biological Substances

**Classification and procedure used to derive the classification for mixtures according to Regulation (EC) 1272/2008 [CLP]**

Classification according to regulation (EC) No 1272/2008 [CLP] and amendments	Classification Procedure
Acute Toxicity (Dermal) Category 4, H312	Expert judgement
Acute Toxicity (Inhalation) Category 4, H332	Expert judgement
Specific Target Organ Toxicity - Single Exposure (Respiratory Tract Irritation) Category 3 , H335	Expert judgement
Acute Toxicity (Oral) Category 4, H302	Expert judgement
Skin Corrosion/Irritation Category 2, H315	Expert judgement
Serious Eye Damage/Eye Irritation Category 2, H319	Expert judgement